

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に在りしものよきわしい追憶と誇りに生きましよう。

奈良市民だより

No. 390

市民のうごき

4月1日現在(前月比増=△印減)
人口 275,182人(△113)
男 133,612 (18)
女 141,570 (△131)
世帯数 86,268 (△94)



奈良市から西安市へ贈った友好旗を掲げる鍵田市長と王团长(左)=市民歓迎大会で

奈良市の友好都市中国・西 一任を团长とする西安市友好代 一民の友情を携えて四月四日奈良市の王林同市革命委員会主 一表団の一行十七人が、西安市 一良市を訪れました。一行は九

ようこそ 西安市友好代表団

両市の友好更に深まる

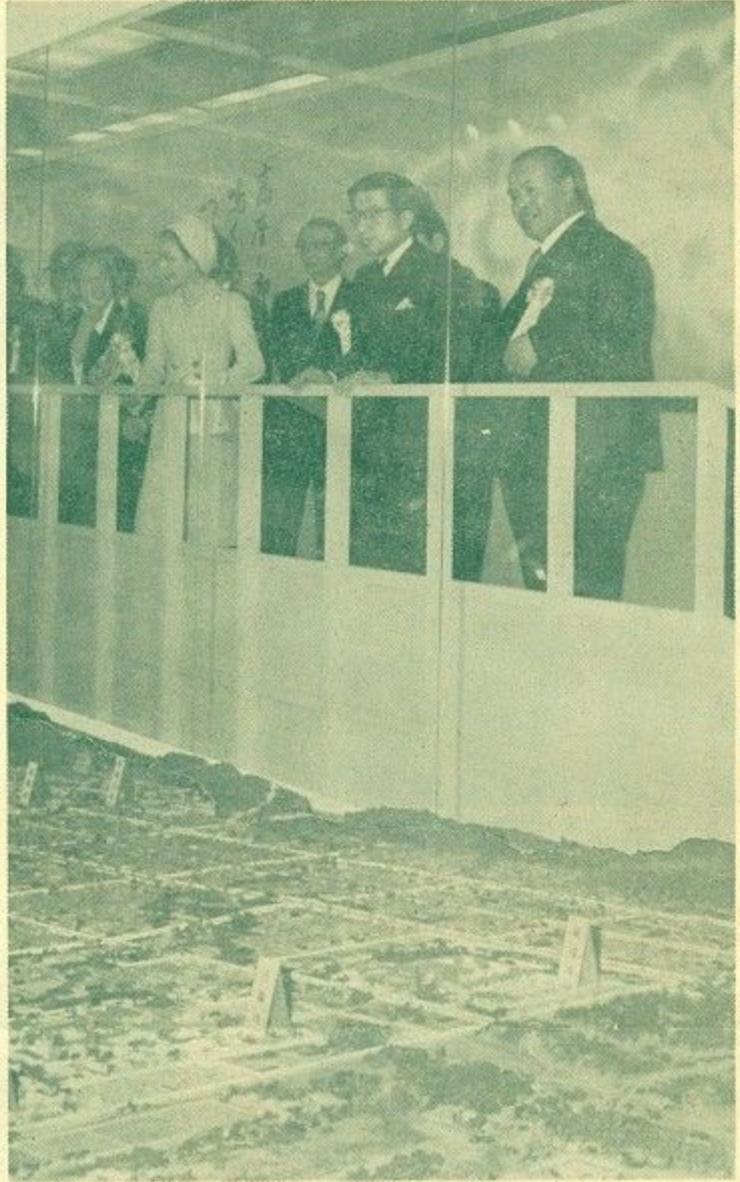
奈良市の六日間 友情の握手固し

日までの六日間奈良市に滞在、各地で奈良市民こそぞのあたたかい歓迎をうけ、友情の花を咲かせ、友好親善の輪を広げました。
四月四日、市民約五百人の歓迎を受けて奈良市に着いた西安市友好代表団の一行は、翌五日朝から奈良公園飛火野で鹿寄せを楽しんだあと若草山頂から市内を展望したのち、奈良市役所を訪れ鍵田市長を表敬訪問しました。
市役所玄関前で市民、市職員ら多数の出迎えをうけて「西安の間」に入った一行は鍵田市長、加藤市議会議長はじめ西安市を友好訪問したことのある人たちとごやかに歓談しました。
五日午後二時から市民歓迎大会が市役所正庁で市民千二百人が参加して盛大に開かれました。

全員が拍手して熱烈に歓迎するなかを鍵田市長に導かれて会場入り。
日中両国国旗をはさんで壇上右側に王林团长をはじめとする代表団、それに東京からかけつけた西安市出身の符浩駐日大使、左側には鍵田市長、加藤市議会議長、市民各界代表がそれぞれ席につきました。
代表団の紹介につづいて少年少女合唱団の子どもたちが友情の花束を贈りました。
鍵田市長は「桜花まさに開かんとするこの好季に、また日中平和友好条約締結の機運が大きな盛り上がりをもたせているとき、王林先生を团长とする代表団のご一行が、西安市民のあつちやうな友情を携えて奈良市を友好訪問していただき、私たち奈良市民は心からお待ち申し上げていました。

西安市民とともに熱烈歓迎します。日中両国の心ふる里同士の結びつきは、日中友好結核の精神的なかなめとして、いよいよ強固なものにしなければならぬ。そのために奈良と西安両市民は手を携えて友好結核し、お互い励ましあい、学びあい、深い友情に根ざした友好交流の推進にいつその努力をしてみたい」と述べました。
つづいて王林团长は「桜の花びらがほころびようとして、楊柳が緑したるといふとき、私たちが西安市友好代表団は日本人民と奈良市人民に対する西安市人民の友好的なよしみを携え、私たちの友好都市であり、日本の有名な文化的古都である奈良市を訪問させていただき心からうれしく思います。貴国の美しい国土に足を踏み入れたとき、心からの歓迎を受け、親戚のような雰囲気に包まれました。両市人民の往来が多くなり往来と連携が益々発展し、人民の友情がひっきりなしに深まり、友好関係が絶えまなく増進してきました。偉大な中日友好

- 西安市友好代表団名簿(敬称略)
【团长】王林(市革命委員会主任)
【副团长】謝邦定(市革命委員会副主任)
【秘书长】李品明(市革命委員会外事処処長)
【团员】向仲約(市革命委員会工運交通科室副主任)
張治國(市郊区革命委員会主任)
吳万金(市碑林区革命委员会主任)
林秀英(女性)
西北国棉第四棉紡織廠工人
陝西省总工会生産部副部室工作人员)
【团长】劉大椿(西安電機工場副技師長)
張景湧(市革命委員会基本建設委員会都市計画局負責人)
杜自有(市对外贸易公司負責人)
員恩鳳(女性)
市人民放送局演劇班俳優・歌手)
金烈約(市農薬科学研究所技師)
張群宝(市無線電機第一工場技師)
鄭煥嶺(市革命委員会弁公室秘書)
李濤(市革命委員会外事処工作人员)
【通訳】鄧友民(市革命委員会外事処工作人员)
邱劍英(陝西省革命委員会外事弁公室工作人员)



平城京復元模型をご覧の皇太子・同妃両殿下にご説明申しあげる鍵田市長(右端)

皇太子・同妃両殿下にご覧いただく 東京展示の平城京復元模型

市役所一階ホールに展示されていた「平城京復元模型」を中心に、当時の生活をしのぶ文物を展示する「よみがえる奈良—平城京展」(奈良市主催、文化庁・東京都教育委員会後援)が四月十一日から同二十三日まで東京日本橋の三越本店七階美術館で開かれています。
十一日午前九時三十分からはじまった開会式には、犬丸文化庁長官、符浩駐日中国大使、ホセ・アラゴネス駐日スペイン大使、県選出国會議員、石田和外全日本剣道連盟会長、木村篤太郎奈良県人会長ら各界からの来賓約五百人が出席。
鍵田市長が「平城京の復元模型を東京で展示することができて感無量です。これによって、東京の人たちに偉大な先祖たちの心を少しでも知ってもらえればと願っています」とあいさつ。このあと犬丸長官と共に紅白のテープを切ってオープンしました。
この日、早くも入場者は四千人を超えこの種の展示会の初日としては画期的な観客だと三越側でも驚くほどの人気を呼んでいます。
二日目の十二日午前九時四十分には、鍵田市長、加藤利和市長、久我高照法華寺門跡、清水公照東大寺管長、河野清晃大安寺

西安市友好代表団 奈良の地に 親善の足跡



▲ 飛火野で鹿寄せを楽しむ代表団員

▶ 「西安の間」にくつろぐ代表団一行



▲ 市民歓迎大会で会場を埋めた市民に鑑田市長と拍手でこたえる王団長(左)

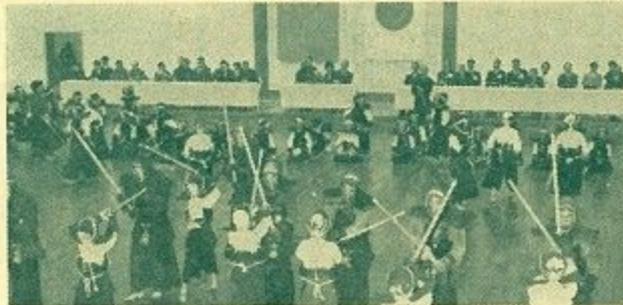


▲ 市役所前には多数の市民が押し寄せて一行を歓迎

▶ 西安市出身の符浩駐日中国大使も市民歓迎大会であいさつ



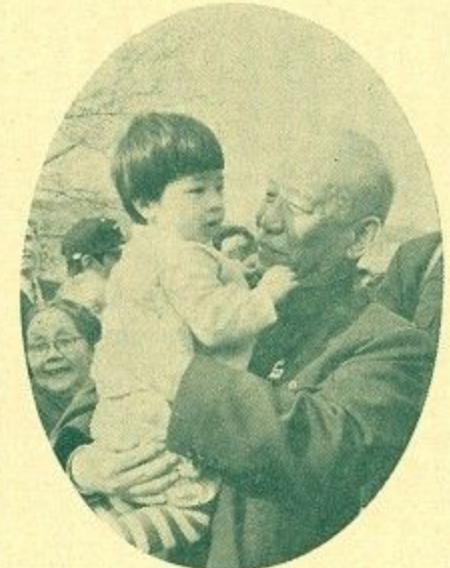
▼ 中央武道場で剣道げいこを見学



▶ 日中永遠の平和を祈念して東大寺の大鐘をつく鑑田市長と王林団長



▼ 歓迎の子を抱きあげて喜ぶ王林団長



▼ 清掃工場で粗大ゴミの処理状況を熱心に見学



▲ 平城ニュータウンの民家に招かれて電気ゴツを珍しがる団員ら

わが国の近代化 動向にも注目

今回の代表団は、中国の進んでいる「四つ(農業、国防、工業、科学技術)の近代化」を学ぼうと、とくに代表団の希望で平城ニュータウンや清掃工場、製茶工場、鴻の池での消防訓練のほか、橿原市の県農業試験場や大和郡山市の県浄化センターにまで足を伸ばして熱心に視察・見学しました。

まず六日に鴻の池運動公園で行なわれた消防訓練を視察、家庭用消火器による消火訓練や鴻の池池畔に勢ぞろいしたハンゴ車はじめ十車両からの五色の水のいっせいの放水、車両の分列行進に身をのり出して見ました。

翌七日は橿原市の県農業試験場と郡山市の県浄化センターを視察、農業試験場ではスベインメロンの栽培方法や米のベレット農法に関心を示し、係員に熱心に質問していました。

平城ニュータウンでは人工川のある団地風景を珍らしげに見たのも三家庭を訪問、主婦に「家賃はいくら」「家族は何人」「一カ月の生活費は」など生活に即した質問をしていました。

八日は田原地区の製茶工場を見学、茶摘み機を手にとって茶をつむ動作をしたり、製茶工程の説明を熱心に聞いていました。このあと農家訪問したのち分散して市清掃工場や緑ヶ丘浄水場、組立てハウス工場など参観、清掃工場では粗大ゴミの処理作業を見学「一日の搬出量」や「処理工程」を係員にきいていました。

古社寺など訪れる

奈良市を訪れた西安市の友好代表団は、六日は春日大社で舞楽「蘭陵王」を鑑賞したのち、東大寺を参観。このあと千二百余年の歴史の響を伝える東大寺の大鐘を鑑田市長と王林団長、加藤市議会議長と謝邦定副団長がそれぞれ仲よくつきまわりました。

唐招提寺では、日中友好の

納期限を延長

固定資産税と都市計画税の第一期分

昭和五十三年度から市税条例が改正されて、都市計画税の税率が現行の百分の〇・二から百分の〇・二五に引き上げられました。都市計画税は都市計画事業における都市施設の整備促進を図るために使われる目的税です。

子ども会育成指導者研修会

子ども会を健全に育てていく指導者の研修として、今年度第一回の市子ども会育成指導者研修会をつぎのように開きます。初心者の方も多数参加してください。当日直接に会場へおこしください。

とき 五月十日(水) 正午～午後四時
ところ 三笠公民館体育室(大宮町一丁目)
内容 YMC A 総主事浜田清志氏による講演「子ども会活動におけるボランティアについて」のほか話し合いも
持ちもの 運動くつ、筆記用具
詳しいことは市教育委員会社会教育課(電話 一一一〇番)へ。

三月二十五日に逝去された名譽市民橋本凝胤師の葬儀と告別式が、四月九日午後一時から鍵田市長が葬儀委員長となつて薬師寺写経道場で行われ、白一色の菊の花で埋められた祭壇の中央には、平山郁夫画伯の筆になる老師の肖像画が掲げられ、遺言と遺品がまつられました。

名譽市民 橋本凝胤師を悼む

しめやかに葬儀



【上】切々と弔辞を述べる鍵田市長 【下】写経道場に集まつたお弔いの人々



葬儀は森本孝順唐招提寺長老が導師となつて、一門の僧十数人の読経のあと、鍵田市長が要旨別項のような弔辞を靈前に捧げ、その死去を悼みました。



鍵田市長から名譽市民称号を受ける橋本老師(昭和四十七年)



薬師寺の庭を散策される生前の橋本老師

唯識教学最高の教授者 橋本凝胤師

橋本凝胤師は明治三十年四月二十八日奈良県生まれ、享年八十歳。七歳で法相宗法隆寺に入り、佐伯定胤僧長に得度を受けられた。以来、法隆寺および薬師寺で戒律教学を身につけ、昭和十四年に薬師寺住職となり大僧正法相宗僧長に晋山される。

この間、大正五年に奈良郡山中学校、同十二年に東京宗教学部(現大正大学)文学部を卒業。師は、日本の高僧の一人として唯識教学最高の教授者でありました。しかも、生涯独身を通過しての仏道実践者としての日常生活は非常に厳しく崇高で、わが国でも数少ない偉大な存在でありました。

師の生涯は仏道をひたすら実践具現することに終始され、奈良県済生会理事、人権擁護委員、児童福祉審議会委員、青少年問題協議会委員、社会福祉協議会委員など数々の重職につかれ、広く社会のために貢献されました。そのため、昭和三十年には済生会事業に尽くされた功績により総裁高松宮殿下から表彰状を、同三十五年には人権擁護事業の功績により監獄長章を、同四十四年には人権教育・社会福祉事業に貢献された功績により叙勲をそれぞれ受けられています。また、先祖の偉大な文化財の保護と古文化の顕彰をはか

るため、奈良市史編集審議会委員、奈良県文化財審議会委員、奈良国立博物館評議員、国立奈良文化財研究所評議員等を歴任。さらに飛鳥・藤原京保存会の委員として多大の貢献をされましたが、特に平城宮跡の保存に意をそそがれ、平城宮跡が今日のように国の手にあつて保存されるようになった陰の功労者であるといわれています。

著作活動も活発にされ、「仏教教理史の研究」「人の心、仏の心」をはじめ、多くの著書があります。これらの功績により奈良市では昭和四十七年十一月三日名譽市民に推戴しました。

鍵田市長の弔辞(要旨)

老師は仏教者として、持戒の特に厳しい正しい仏徒としての道を貫き、その生涯を終えられました。また、唯識教学の学問僧としても高名であり、学徳共にすぐれた仏教者として実に偉大な存在であり、その老師が奈良薬師寺におられることが奈良市民の大きな誇りでもありました。

老師は十一年前、市民誰もが中国との友好のことを考えていないときに西安市との友好提携を提唱され、私にも強く西安市と姉妹都市を結ぶようにとすすめられたのであります。

また、本年は平城宮跡発掘二十周年を迎えたのでございませぬが、この平城宮跡の保存について、二十数年前これを強力に推進され、国の保存買上げを決めるようにすすめられたのも老師でございました。

この中国西安市との友好提携のこ

老師は、多岐に亘り人権擁護委員など各種の社会教化、社会福祉の仕事を進められ、人権思想の普及啓蒙、あるいは青少年の指導に、そして生活困窮者、母子家庭の援護とその環境改善に献身的に尽くされたのでございませぬ。

奈良市におきましても、老師の崇高なご人格と偉大なご業績に対し、昭和四十七年文化の日奈良市名譽市民として顕彰させていただいたのでございませぬ。

忘れもしませぬ。老師が名譽市民になられたのち、同じ名譽市民の故岡澤先生と二時間におつたつて学問の真理をふりかざして、この薬師寺で対談されたことがありませぬ。

宇宙の大真理を悟得されての両先生

奈良市は日本民族の心のふる里として、本年は開拓精神をもって正しい人の道を盛んにする新平城宮のまわりの道を進めるところでございませぬ。その新平城宮の精神的な指導者が老師でありました。この新時代の人の道を示す偉大な灯台の灯が、いま音もなく消えたのであります。悲しい限りであります。

われわれ奈良市民は、名譽市民橋本凝胤老師が示された日中友好の道と、平城宮の復元により日本民族の心呼び起こすことと、衆生済度の道をもって真に幸せなるまちをつくるという奈良市のもつ三つの大きな使命を、ご遺志に従ひ果たしてまいりたいと存じます。

希くは在天の橋本凝胤老師のご霊位永く安らかに眠りいただき、ご加護とご示教を奈良市と遺弟子に垂れ賜わりますことを。

全議案 原案通り 成立

三月定例市議会で

昭和五十二年度予算案をはじめ、新年度市政の施策を審議する奈良市議会三月定例会は三月十日召集され、会期を同月二十七日までの十八日間と定め、慎重審議をつづけました。

十一月十二日開議は議案熟読のため本会議を休会、十三日から十六日の四日間におつたつて質疑・一般質問が行なわれ、議案をいずれも原案どおり可決(または承認・同意)をつづいて十七日から予算特別委員会を開いて、付託された五十三年度一般会計予算案と三十議案について審議が行なわれ、いずれも原案どおり可決(または承認・同意)と決定、二十七日開かれた本会議では、予算特別委員会から報告のあと全議案を原案どおり可決(または承認)されました。

このほか同日提出された人

権擁護委員の推薦について高石武一郎氏が、また既報のとおり助役の選任については西田栄三氏がそれぞれ同意されました。

三月定例市議会に提出された請願

はつぎのとおり

で、いずれも委員会に付託されました。

▽都市計画事業三条(法華寺線街路改良工事の早期施行)に関する請願書

▽中山町パークサイドセンター建設反対に関する請願書

▽中山町パークサイドセンターとニチイ進出反対に伴なう環境保全に関する請願書

▽仮称中山町パークサイドセンター、ニチイ出店建設計画に関する請願書

▽油取駅移転に伴う地元補償に関する請願書

世帯更生援護資金 貸付け条件を緩和

市では低所得者で、生活に困っている方に対して世帯更生援護資金の貸付けを行なっていますが、世帯更生援護資金貸付規則の一部改正により、四月一日からつぎのように変わりました。

①貸付け対象の範囲が緩和

作品を募集

水道局では、六月一日から一週間催される第二十三回水道週間をテーマにした作品を募集します。

①一件十万円であったのが二十万円以内、(ただし高額療養費は二十五万円以内)拡大。

②なおくわしいことは保護課(電話四七五七番)へ。

水道週間には、六月一日から一週間催される第二十三回水道週間をテーマにした作品を募集します。

◇標語(官製はがきに一人二句以内、市民に限りません)

◇作文(市内の小・中学生で、四百字詰め原稿用紙二枚)

◇絵画(ポスター)市内の小・中学生で、クレヨンか絵具によるもの、A2判/B5判の画用紙で一人一点。

作品のテーマは「生活と水」を主題としたもので「奈良の

水「水の大切さ」を表わした作品で、五月十七日までに水道局企画課水道週間作品募集係へ送ってください。

作品には住所・氏名・学校名(学年)・電話番号を書いてください。(図画はテーマを裏面にはりつける)いすれも未発表のもの。優秀作品は一・二・三等、佳作入賞者を表彰、全員に参加賞を贈ります。

ポランティア・スクール受講生

集。市教育委員会と市青年ボランティア協会では、昭和五十三年度のボランティア・スクールの受講生を募集しています。スクールは年間十四回開く予定で、受講者は十五歳以上の青年男女、各回とも定員四十人となっています。

四・五両月の開講予定はつぎの通りで、参加希望者は五月二十・二十一日の分を除き申し込み不要、直接会場へ来てください。

▽四月二十二日(土)午後三時～八時、市立青少年児童会館で、人形劇講習と開講パーティー。

▽五月十一日(木)午後六時～九時、青少年児童会館で、クラフト(工作の教え方)。

▽五月二十・二十一日(一泊二日)二十日午後二時までに市青年の家集合。レクリエーション(ゲーム、うた、フォークダンス)の徹底研修会。参加希望者は四月二十五日までに実費二千元(宿泊・食事・テキスト代)を添えて市社会教育課内、市青年ボランティア協会事務局(北新町六一一、電話一一一〇番)へ申し込んでください。

「奈良市民だより」本号は行事の都合により発行が遅れました。各方面にご迷惑をおかけすることをわびたいし、作品のテーマは「生活と水」を主題としたもので「奈良の

